

令和7年度社会福祉施設向け感染症対策研修会

ノロウイルスの基礎知識 & 感染対策のポイント



令和7年11月21日

JCHO南海医療センター

感染管理認定看護師 中野 智美

本日の内容

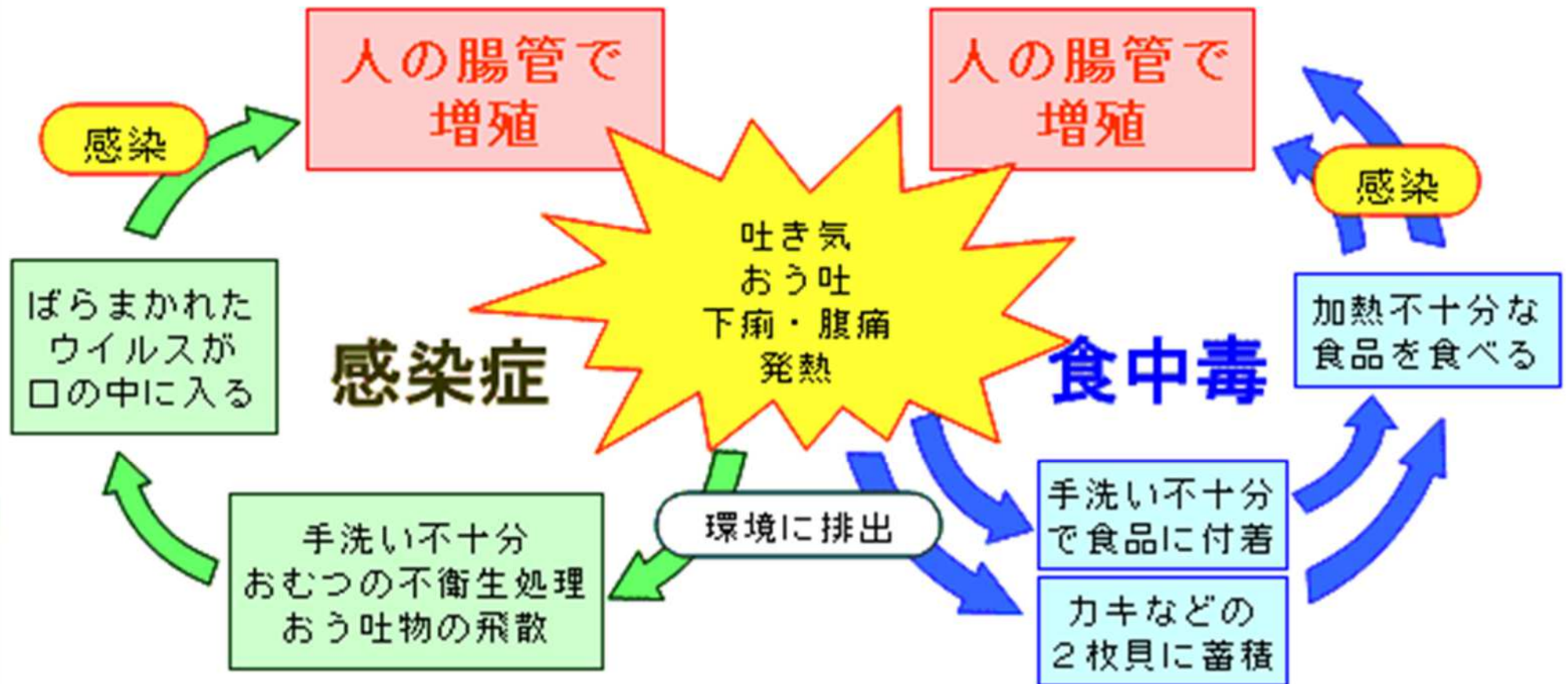
1. ノロウィルス感染症とは
2. 感染対策のポイント

1. ノロウイルス感染症とは



- 毎年、秋から冬場にかけてノロウイルスを原因とするおう吐・下痢を伴う急性胃腸炎
- 潜伏期は12～48時間
- 通常は1～3日で回復するが、乳幼児や免疫能の低下している高齢者などでは重症化する場合もある
- 感染力が強いため、施設内で大規模な流行を起こす恐れがある

ノロウイルスの感染サイクル



主にケアの現場でおこること

主に調理室でおこること

ノロウイルスってどんなウイルス？

- ノロウイルスは、**エンベロープをもたない**小型の球形ウイルス（27～30nm）



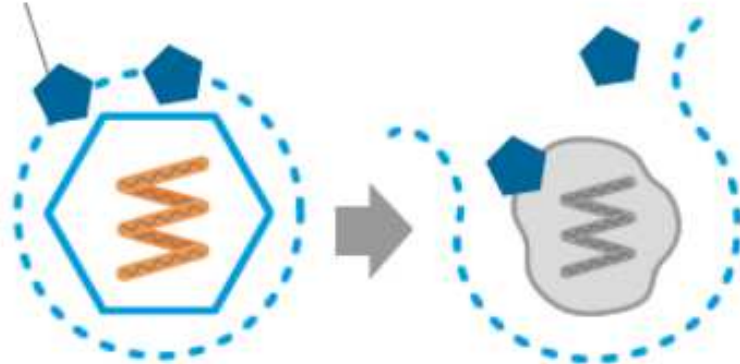
島根県感染症情報センターHPより

- ノロウイルスの感染力は非常に強く、わずかなウイルス量（10～100個程度）で感染する
- 感染者のおう吐物やふん便中には、大量のウイルスが含まれている
（おう吐物、ふん便1g中に100万～1億個以上）

エンベロープって??

エンベロープウイルス

アルコール



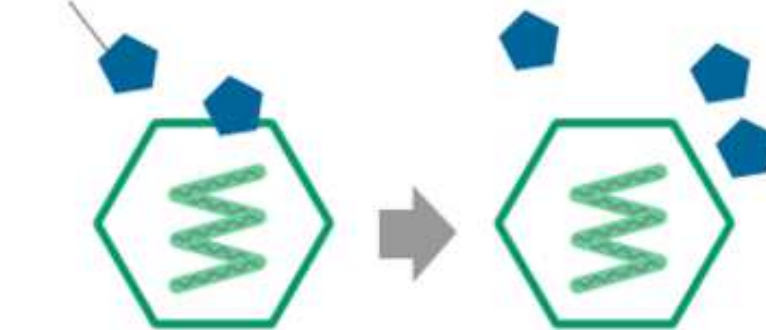
アルコールが膜を壊して
ウイルスにダメージを与える

代表的なウイルス

インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルス、B型やC型肝炎ウイルス、エイズウイルスなど。

ノンエンベロープウイルス

アルコール



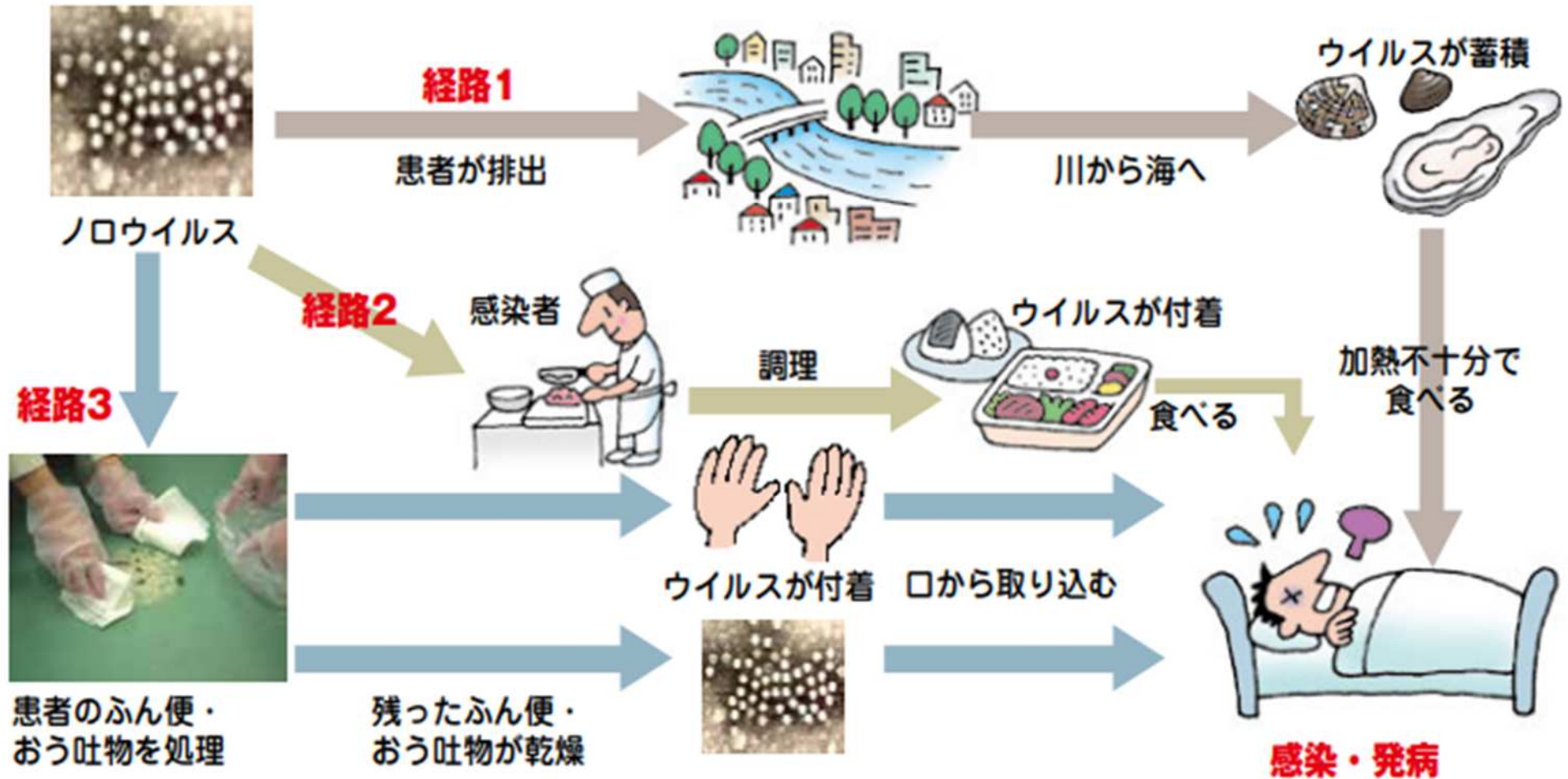
膜がなく、アルコールに強い

代表的なウイルス

ノロウイルス、ロタウイルス、ポリオウイルス、アデノウイルスなど。

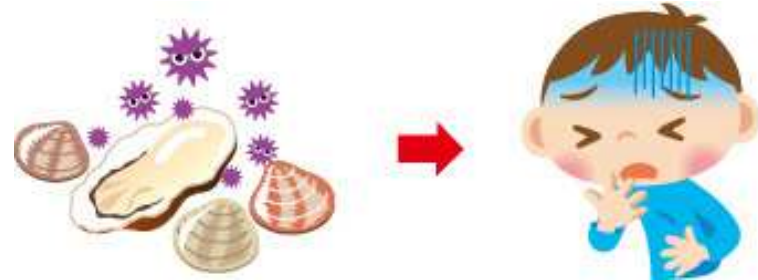
感染経路は3つ

〈ノロウイルスの感染経路〉

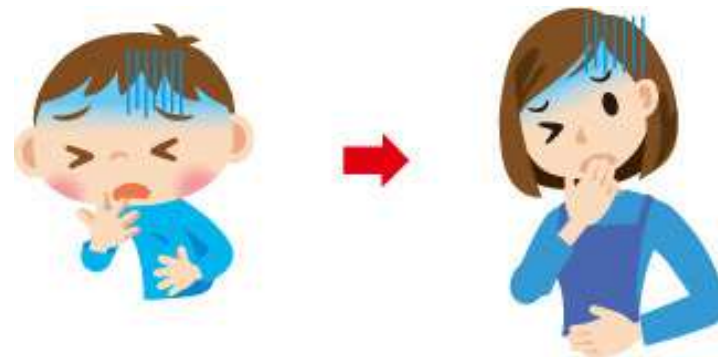


どうやって感染するの？

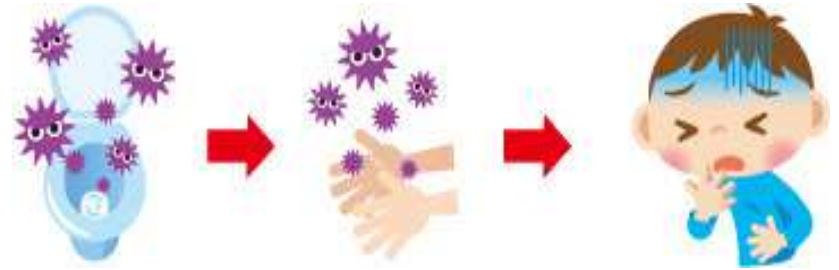
①カキなどの二枚貝を生、あるいは十分に加熱調理しないで食べて感染する。



②家庭内で感染者を看病することでヒトからヒトへ感染する。



③おう吐物やふん便などで汚れた環境表面（トイレや食器、衣類など）に触れ、手を介して口から体内に入り込んで感染する。



④感染者のおう吐物やふん便が飛び散り、しぶきを吸い込んで感染する。



⑤カーペットなどおう吐物の処理が不十分であり、乾燥し歩行などにより空中に舞い上がったウイルスを吸い込んで感染する。

ノロウイルス食中毒予防 4 原則

持ち込まない



拡げない



加熱する



つけない



つぎは・・・

2. 感染対策のポイントです

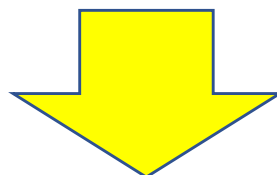
環境整備



消毒箇所：蛇口、ドアノブ、手すり等、人がよく触れる場所

消毒

0.02%次亜塩素酸ナトリウムに浸した布などで拭く。



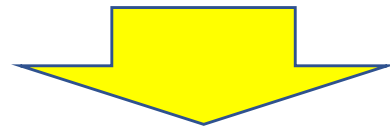
10分後に水拭きする。

※下痢や嘔吐をした利用者がある場合は、特に汚染されやすいトイレやその周辺などを中心に消毒の頻度を増やす必要があります。

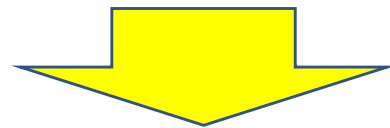
リネン類の処理



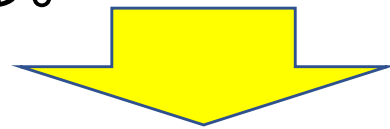
1. 汚物がついたリネン類を扱うときは、必ず、使い捨てのビニール手袋と、マスク、エプロンを着用する。



2. 汚物がついたリネン類は、専用のビニール袋に入れ、周囲を汚染しないよう十分注意する



3. 汚物を十分に落とした後、塩素系消毒液（0.02%次亜塩素酸ナトリウム）に30～60分浸すか85℃で1分以上になるよう熱湯消毒する。



4. 消毒後、他のものと分けて最後に洗濯する。

食器類について



厨房へ感染者が使用した食器を戻す際には注意が必要です。

厨房に戻す前、その場で処理をした方が感染の拡大防止になります。

残飯を袋に入れ密封し、食器は200ppmの次亜塩素酸ナトリウム液に浸漬して消毒してください。
熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱も有効。

※当院では使い捨ての食器にしています。

トイレ清掃の個所と順番



洗面台（蛇口は忘れずに！）
↓
便器の周辺（ホルダー、レバー、
スイッチ類）
↓
便座フタの外側・内側
↓
便座の外側・内側

ノロウイルスに感染した人（子ども）の
使用後は、0.02%の濃度にした次亜塩素
酸ナトリウムでふき取りをしましょう。
※素材によっては、10分後に水拭きしましょう。

ポータブルトイレの洗浄は？

- 洗浄時はマスクと使い捨て手袋、ガウンやエプロンを着用してください。
- ポータブルの 便槽は流水と専用ブラシで洗い、0.2%次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。便座は0.02% 次亜塩素酸ナトリウムに浸した布等で拭き、10 分後水拭きします。



注意事項（指導を含む）

- ① 爪は短く切り、食事の前と排泄の後は、液体石けんと流水で丁寧に手を洗う。

《液体石けん詰め替えについて》

◆ボトルに継ぎ足さない

◆やむを得ず詰め替えする時は、ボトルをよく洗って乾燥させてから

- ② 手洗い後の手拭タオルは共有しない。

◆タオル・ハンカチは個人持ちとし、毎日持ち帰り交換してもらう。

◆他人のものは使用させない。又はペーパータオルを利用する。

- ③ トイレ使用时には、トイレットペーパーの使い方、スリッパの後ろ向きに脱ぎ、トイレで遊ばないことを教え、排泄後の手洗いを確認する。

- ④ お腹の調子の悪いとき、トイレを汚してしまったとき等は、職員（保育者）に知らせるよう教える。

- ⑤ 他の利用者（子ども）にも同じ症状がないか確認する。

その他



- 症状回復後でも1週間程度、長い場合は1か月に渡って便中にウイルスが排泄されるといわれています。
- また、発病することなく無症状病原体保有者で終わる場合もあります。
- 流行期間中は知らない間に感染源となってしまう場合があるため、流水・石鹸による手洗いを行ってください。



吐物処理



ふん便やおう吐物の処理は、処理をする人自身への感染と、施設内への汚染拡大を防ぐため、適切な方法で、迅速、確実に行うことが必要です。



あらかじめ準備しておくといいです。
すぐに対応ができます。

準備したものは、使用期限が切れていないか、個人防護具は劣化していないかなど、定期的に確認しましょう。

吐物処理の手順

1 他の介護者を呼ぶ

- ・嘔吐者の安全を確保し、周囲にいる人を離れた場所に移動させる。
- ・吐物処理セットを持ってきてもらう。
その際消毒液（濃度0.1%）、消毒液に浸したペーパータオル等の作成を依頼。



2 PPE装着

- ・腕時計、指輪等を外す。
- ・髪が長い場合には束ねるか
キャップを装着した後に使い捨てエプロン（長袖ガウン）を着用。
- ・手袋は2重に装着。
- ・できればフェイスシールドかゴーグルを使用。



3 汚染ゾーンを決定

- ・汚染ゾーンは半径2mと考える。
- ・汚染ゾーンに入るのは吐物进行处理する者のみとする。
- ・消毒液で浸した新聞紙やペーパータオルで吐物を覆う。

4 換気

- ・吐物に含まれるウイルスは乾燥するとちりのように舞い上がる可能性があるため、吐物を新聞紙やペーパータオルで覆った後に換気する。



協力スタッフに手順を
読み上げてもらう



5 吐物を取り除く

- ・吐物を外側から内側によせながら静かに包み込む。
- ・拭き取る際にガウンや服の裾が床や手に触れないように注意。



6 吐物を密閉する

- ・吐物を拭き取った新聞紙やペーパータオルをゴミ袋に捨て、内側のゴミ袋を閉じる。
- ・外側の手袋を外し、ゴミ袋に捨てる。



7 汚染ゾーンを消毒する

- ・消毒液に浸したペーパータオルや布で汚染ゾーン（**半径2m外側の広範囲**）を浸すように**外側から内側**に向けて一方向に拭き取る。
- ・消毒後、水拭きする。
- ・靴底を消毒する。
- ・消毒後のペーパータオルをゴミ袋に捨てる。



8 PPEを脱ぐ

- ・PPEを脱ぎ、外側のゴミ袋に捨てて、外側のゴミ袋をしっかりと閉じる。

【PPEを脱ぐ順番】

- ①手袋
- ②フェイスシールド・ゴーグル
- ③使い捨てエプロン（長袖ガウン）
- ④キャップ（装着の場合）
- ⑤マスク



9 手洗い

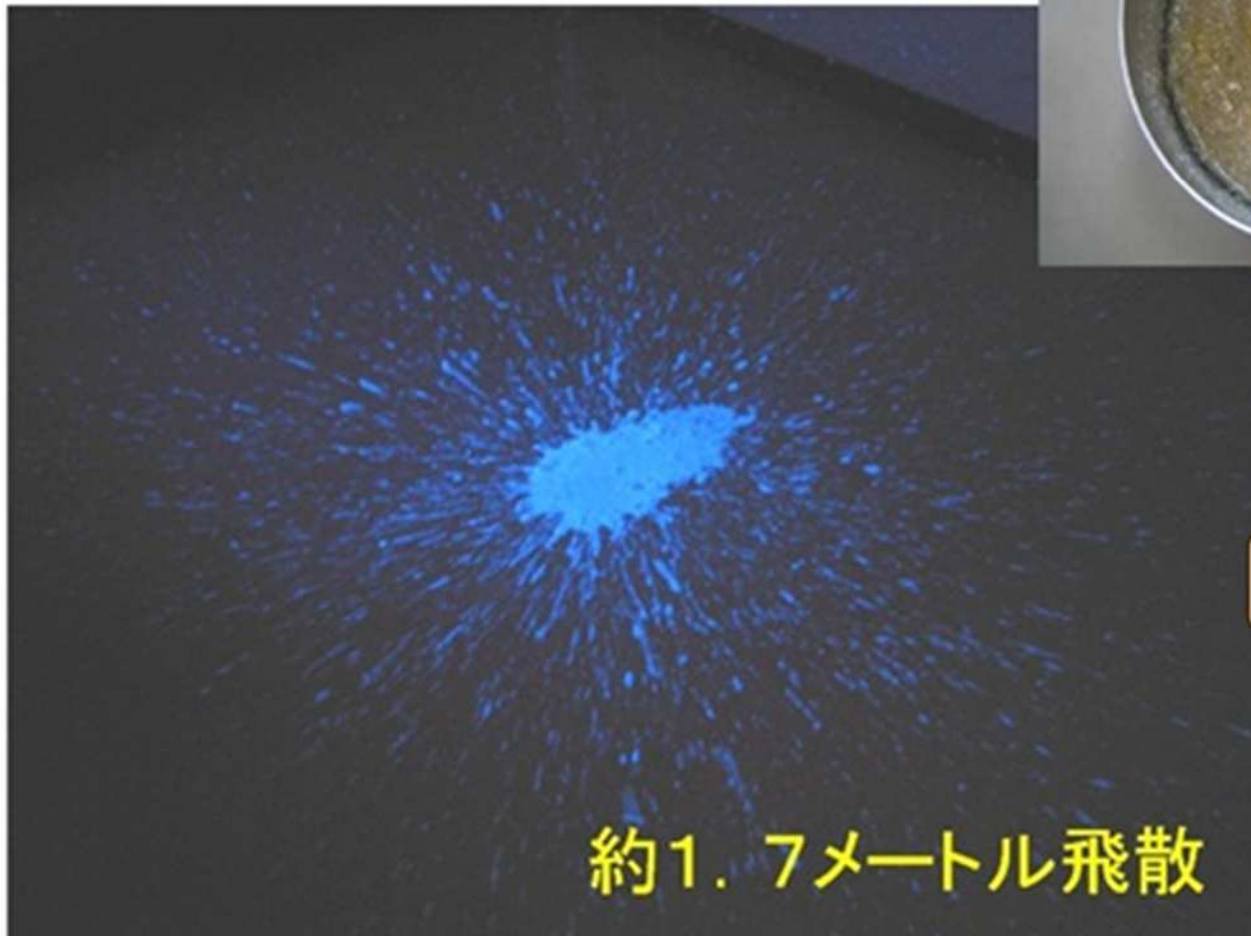
- ・全ての処理が終了したら石けんと流水で手を洗う。



補足：なぜ2m？

擬似嘔吐（おうと）物の拡散実験

擬似嘔吐物：1mの高さから落下



100ml

約1.7メートル飛散

ノロウイルス感染対策のまとめ

1. 基本は手洗いです。
2. 入居者（子ども）が発症した場合は、隔離などの処置を適切且つ迅速に。
3. 便や吐物処理は速やかに、確実に。

うつらない・うつさない対応が大事です！！